

緊急 トップインタビュー

こだま

代表取締役 児玉 康さん(43)

企業の多くが新型コロナウイルスで大きな痛手を受けています。困難を乗り越えようと踏ん張る地元企業のトップに聞く企画。今回は「餅入りどら焼」で親しまれる仙台市の菓子製造販売「こだま」代表取締役の児玉康さん(43)です。



—影響は。

外出自粛の動きが広がった3月以降、「土産物」の需要は急減しました。学校行事や企業イベントの中止・延期も相次ぎ、売り上げは3月が前年同期比15%のダウン。4月はさらに深刻で、中旬時点で半減です。納品を待つばかりだったどら焼きなどの和菓子約2000個が、イベントの急な延期で在庫となりました。冷凍技術の進歩である程度の保存は可能ですが、再開のめどが立たない現状では「処分」の文字さえ頭をよぎり

宅配に力 和菓子で 笑顔に



ます。

—店舗の様子は。

アルバイト・パートは自宅待機しており、社員でシフトを組んで製造と店舗運営に当たっています。店を開けても来客は増えず、かといって閉めれば売り上げはゼロ。葛藤の日々が続いています。

—宅配に注力し始めました。

新型コロナウイルス

ともに
乗り越えよう

保有する冷蔵・冷凍車でお届けします。外出が難しくても家で和菓子を味わい、みんなに笑顔になってほしい、その一心です。暮らしのさまざまなシーンを和菓子で彩る役目なので「思い出販売業」を自負しています。もうすぐやって来る端午の節句にはかしわ餅を、母の日にはメッセージ入りどら焼きを、家族みんなで食べて、笑って過ごしてほしいと願っています。

information

宅配は午前9時半～午後3時、仙台市内（一部地域を除く）で実施。前日まで要予約。税込み1000円以上の注文で、無料で届ける。近隣エリアの対応は応談。どら焼きに自筆メッセージを入れることもできる。連絡先は022(235)5533。

企画・制作／河北新報社営業局